

カラー・チルドシアーナ組織培養苗の順化と育苗

1. 試験のねらい

カラー・チルドシアーナの増殖は、大きい株を分割し直接定植しているが、高能率安定生産のためには、安定した苗を育苗する技術が必要である。そのため組織培養苗を用い、安定した苗を短期間に生産する育苗技術を検討した。

2. 試験方法

花穂由来による塊茎を分割し、増殖・発根した苗を6月11日水洗いして供試した。培地はメトロミックス-350およびクリプトモスを用い、順化時の苗の重さは1区：1～3g、2区：3～5g、3区：5g以上で検討した。順化は9cmポットに6月11日に行った。晴天時に50ml/トレイを8回/day細霧かん水し、曇雨天時には加減した。施肥は6月17日よりOK-F-10(チッソ15%、リンサン15%、カリ15%)の1,500倍液を、週1回施用した。室温はMin. 12℃、Max. 25℃で管理した。

3. 試験結果および考察

- (1) 苗の重さにかかわらずメトロミックス-350、クリプトモスとも100%順化した。(表-1)
- (2) 順化2カ月後の生育はメトロミックス-350では、草丈31.4～36.3cm、完全展開葉数3.3～3.4枚、クリプトモスでは、草丈22.4～27.0cm、完全展開葉数3.3～3.7枚であった。(表-2・図-1)

順化時の苗の重さと苗の生長との関係は、小さかった。メトロミックス-350とクリプトモスでは前者の方が生育が良かったが、これは後者のチッソ飢餓によるものと思われた。

4. 成果の要約

順化作業の難易性を考慮すると順化時の苗の重さは1～3gが適当であると思われた。また、培地はメトロミックス-350、クリプトモスとも適した。

(担当者 花き部 岡部陽一)

表-1 順化率

区No	培地	順化時の苗の重さ(g)	順化率(%)
1	トミックS-350	1~3	100
2	"	3~5	100
3	"	5以上	100
4	クリプトモス	1~3	100
5	"	3~5	100
6	"	5以上	100

表-2 順化開始 2か月後の生育

区No	培地	順化時の苗の重さ (g)	葉数 (枚)	最大葉の大きさ 縦(cm)×横(cm)
1	トミックS-350	1~3	3.4	13.9×7.6
2	"	3~5	3.3	13.7×7.0
3	"	5以上	3.3	13.9×7.9
4	クリプトモス	1~3	3.6	9.3×4.2
5	"	3~5	3.7	10.2×5.3
6	"	5以上	3.3	11.9×5.6

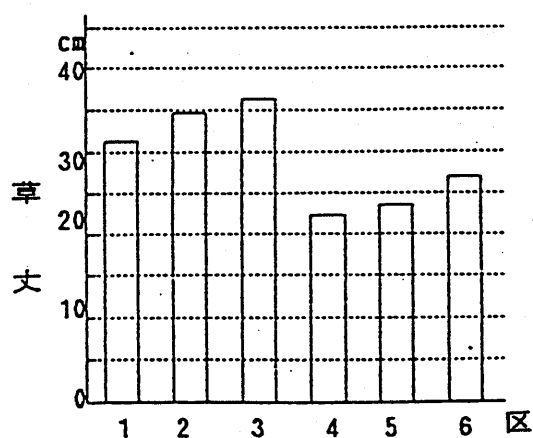


図-1 順化開始 2か月後の草丈
(区 No. は表-1と同じ)